

魯山人館

2020年4月1日(水)オープン

足立美術館が開館50周年を迎える2020年春、新たに『魯山人館』がオープンします。

北大路魯山人の作品を鑑賞するために設計された展示空間で、
当館コレクションの中から常時約120点をご紹介します。



【開館時間】午前9時～午後5時30分(10月～3月は5時まで) 年中無休

【入館料】大人 2,300円／大学生 1,800円／高校生 1,000円／小中学生 500円

◎本料金で日本庭園や本館・新館で開催中の展覧会など、すべてをご覧いただけます(「魯山人館」のみの入館はできません)。

◎20名様以上、100名様以上の場合、それぞれ団体割引があります。

◎土曜日は、小中高生の入館料は無料です(要学生証提示)。



魯山人館開館記念展

美の創造者 北大路魯山人

—新収蔵品を含む名品を一挙公開—

2020年

4月1日(水)～6月30日(火)

北大路魯山人(1883～1959)は若くして書と篆刻で身を立て、当時の風流人との交流を通じて料理と美術に開眼すると、美食道楽が高じて料亭「星岡茶寮」を開設。料理人としての声望を得るとともに、食の空間を彩る食器や花器、絵画や調度などを手がけました。書画、陶芸、漆芸など、それらの作品はあらゆる分野で濃密な個性を放っています。



魯山人

足立美術館の魯山人コレクションは、創設者・足立全康(1899～1990)によって200点余りが集められました。全康の没後、創設者の遺志を継いだ現館長・足立隆則(1947～)が精力的に収集し続け、現在では約400点を所蔵するに至っています。

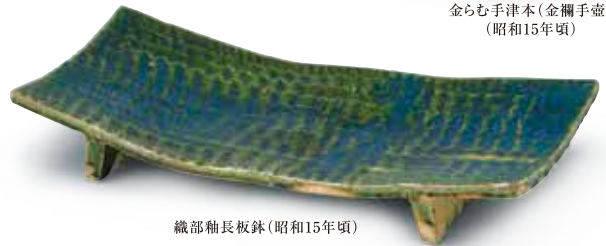
本展では、北大路魯山人の作品だけを展示する新たな施設「魯山人館」の開館を記念し、当館が誇るコレクションの中から、新収蔵品を含む約120点の名品を厳選し、一挙公開します。魯山人作品を鑑賞するために設計された展示空間で、その芸術を心ゆくまでご堪能ください。



椿鉢(昭和15年頃)



金らむ手津本(金欄手壺)
(昭和15年頃)



織部軸長板鉢(昭和15年頃)



染つけ古詩花入(昭和14年頃)



武蔵野(昭和12年)

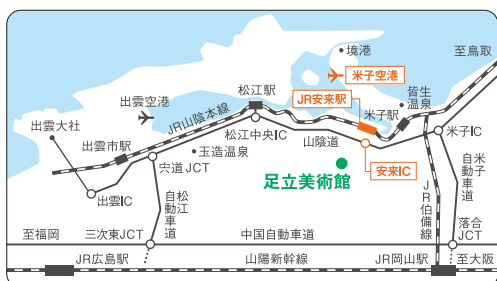


淡海老舗(大正2年)



いろは屏風(昭和28年)

本館 春季特別展「美との出会い - 名画に恋して -」 3月1日(日)～5月31日(日) 夏季特別展「JAPAN 日本画でみる和の心」 6月1日(月)～8月30日(日)
新館 「現代日本画名品選Ⅰ」 4月9日(木)～6月15日(月)



〒692-0064 島根県安来市古川町320 TEL.(0854)28-7111
〈交通〉 飛行機/米子空港から車で45分・出雲空港から車で50分
J R/安来駅から車で15分・米子駅から車で30分



〈特別協賛〉西日本旅客鉄道株式会社 米子支社
〈協賛〉株式会社日美
〔無料シャトルバス運行中!〕

JR安来駅より、便利な無料シャトルバスを毎日運行しています。お気軽にご利用ください。

足立美術館ホームページ <http://www.adachi-museum.or.jp/>

【2年間パスポート会員募集中】
入会金6,000円で2年間何度でも入館できます。その他特典もいろいろ。

